

根室市の財政状況

この財政状況は、市がいろいろな事業を進めていく中で、それに係る費用がどのように収入され、どのように使われたかを市民の皆さんにお知らせし、市の財政の実態と諸施策を正しく理解していただくため、毎年5月と12月の2回公表しています。

今月号では、各会計の平成24年度決算状況と平成25年度予算上期（4月～9月）の執行状況をお知らせします。



問合せ先 市財政課財政担当
TEL (23)6111番 内線 2242・2243

平成24年度決算の概要

■一般会計

一般会計の決算額は、最終予算額183億9,848万1千円に対し、歳入決算額173億6,313万4千円（執行率94.4%）、歳出決算額171億4,774万6千円（執行率93.2%）で歳入歳出差引額2億1,538万8千円の剰余金が生じ、黒字決算となりました。

歳入は、地方交付税が全体の40.6%を占め、次いで市税16.5%、市債13.7%、国庫支出金12.1%となっており、前年度決算額と比較すると9億3,188万2千円の増となっていますが、これは、歯舞小学校校舎新築事業などに係る国庫支出金や介護施設整備補助事業に係る市債の増が主要要因となっています。

また、市が独自に調達できる自主財源は、前年度と比較すると構成比で2.7ポイント減となり、2億789万3千円の減となっています。

歳出では、目的別にみると職員費を除いた、民生費、衛生費、公債費、教育費で61.8%を占める構成となっています。

性質別では、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）の総額は、77億8,970万2千円で、前年度対比4億268万円（▲4.9%）の減となっています。

【歳入】

区分	決算額	構成比
自主財源	43億4,918万3千円	25.0%
市税	28億7,066万9千円	16.5%
使用料及び手数料	4億761万8千円	2.4%
諸収入ほか	10億7,089万6千円	6.1%
依存財源	130億1,395万1千円	75.0%
地方交付税	70億5,670万7千円	40.6%
国庫支出金	20億9,536万1千円	12.1%
市債	23億7,253万9千円	13.7%
道支出金ほか	14億8,934万4千円	8.6%
総額	173億6,313万4千円	100.0%

普通建設事業では、介護施設整備補助事業、保育所整備事業、消防救急デジタル無線整備事業、北斗小学校校舎等耐震改修事業、歯舞小学校校舎新築事業、市営住宅整備事業など、補助・単独事業を併せて総額30億67万1千円の各種事業を実施しており、前年度対比では、12億4,827万1千円（71.2%）の増となりました。

【歳出】

目的別歳出	決算額	構成比
民生費	40億5,411万4千円	23.7%
職員費	30億2,782万9千円	17.7%
衛生費	25億2,317万3千円	14.7%
公債費	20億8,843万1千円	12.2%
教育費	19億1,423万4千円	11.2%
土木費	13億2,073万4千円	7.7%
総務費	7億9,024万円	4.6%
農林水産業費	5億2,836万3千円	3.1%
消防費	5億1,989万4千円	3.0%
その他	3億8,073万4千円	2.1%
合計	171億4,774万6千円	100.0%

性質別歳出	決算額	構成比
人件費	34億2,343万9千円	20.0%
普通建設事業費	30億67万1千円	17.5%
補助費	27億9,264万2千円	16.3%
扶助費	22億7,783万2千円	13.3%
公債費	20億8,843万1千円	12.2%
物件費	20億7,307万3千円	12.1%
繰出金	9億2,101万5千円	5.4%
貸付金	2億887万円	1.2%
その他	3億6,177万3千円	2.0%
合計	171億4,774万6千円	100.0%

■市税負担の状況

平成24年度の市税の調定額は、30億1,301万2千円で、収納額は28億7,066万9千円となっており、収納率は95.3%（全道都市平均93.3%）で全道35市中5番目の収納率となっています。

市民の皆さんから納めていただく税金は、福祉、道路・公園の整備、学校等建設の貴重な財源であり、滞納が増加すると各種市民サービスの低下を招くことにもつながりますので、必ず納期限内に納めるようご協力をお願いします。

【市税の負担額】

区 分	市民1人当たりの負担額 (人口 28,553人)	市民1世帯当たりの負担額 (世帯数 12,871世帯)
調 定 額	105,523円	234,093円
収 入 済 額	100,538円	223,034円

■基金の状況（平成24年度末）

基金は、特定目的のための財産を維持し、資金を積み立てまたは定額の資金を運用するために設けるもので、法律や条例に基づく地方公共団体の財産のひとつです。

名 称	目 的	現 在 高
財政調整基金	年度間の財源不均衡を調整するための基金	10億2,582万9千円
減 債 基 金	市債償還に必要な財源とする基金（償還時に処分）	9億5,220万5千円
標準線代替輸送確保基金	標準線の代替輸送事業に充てる基金	1億5,007万6千円
地域福祉基金	在宅福祉の普及・向上の経費に充てる利息運用基金	8,841万2千円
人づくり・まちづくり基金	人材育成、各団体の活動費に充てるための利息運用基金	1億143万4千円
土地開発基金	公共用地をあらかじめ取得するための基金	10億2,930万9千円
その他の基金	25基金	10億1,409万6千円
合 計	31基金	43億6,136万1千円

■平成24年度に実施した主な事業（一般会計）

議 会 費	議会だより発行事業	70万4千円
総 務 費	定住・移住促進事業	601万7千円
	輸出促進支援事業	758万2千円
民 生 費	介護施設整備補助事業	4億9,680万2千円
	保育所整備事業	5,503万5千円
衛 生 費	合併処理浄化槽設置補助事業	1,053万2千円
農 林 水 産 業 費	中山間地域等直接支払交付金交付事業	1億2,086万8千円
	北方領土隣接地域振興等基金事業（種苗放流ほか）	8,110万円
商 工 費	産学官連携研究開発事業（地域力強化分析）	266万7千円
土 木 費	舗装新設事業（西浜団地2-5号線ほか）	5,970万3千円
	市営住宅整備事業（光洋団地4-2号棟ほか）	2億4,101万8千円
	根室港港湾整備事業管理者負担金	9,229万8千円
消 防 費	消防救急デジタル無線整備事業	4億1,577万6千円
教 育 費	学力向上補助教員配置事業	1,239万2千円
	みらいのアスリート応援事業	267万円
	北斗小学校校舎等耐震改修事業	2億9,161万円
	歯舞小学校校舎新築事業	5億4,769万6千円

【市税の納入状況】

税 目 別	調 定 額	収 入 済 額	収 納 率
個人市民税	12億7,226万7千円	11億7,834万5千円	92.6%
法人市民税	2億4,125万8千円	2億3,912万3千円	99.1%
固定資産税	9億7,774万3千円	9億3,884万6千円	96.0%
市たばこ税	3億2,957万9千円	3億2,957万9千円	100.0%
都市計画税	1億3,751万8千円	1億3,188万4千円	95.9%
軽自動車税	5,464万7千円	5,289万2千円	96.8%
合 計	30億1,301万2千円	28億7,066万9千円	95.3%

■行政費の使われ方

市民一人当たりの行政費は、60万558円となり、目的別にみると民生費 14万1,986円、職員費10万6,042円、衛生費 8万8,368円、公債費 7万3,142円、教育費 6万7,041円、土木費 4万6,256円、総務費 2万7,676円、農林水産業費 1万8,505円、消防費 1万8,208円、その他（議会費、商工費など） 1万3,334円の割合で使われています。

■財産の状況（平成24年度末）

土 地	13,274,721.74㎡
建 物	234,397.52㎡
山 林	24,493,897.52㎡ (うち基金 22,287,263.52㎡)
立 木	169,953.42㎡ (うち基金 161,504.42㎡)
有 価 証 券	2億4,432万円
出資による権利	4億6,436万5千円
債 権	14億6,439万7千円
基 金	43億6,136万1千円 (うち債権 11億1,534万9千円)

■特別会計

特別会計とは、特定の収入を財源として行われるもので、一般会計とは区分して経理する会計です。全体の収支は1,446万7千円の黒字決算となっています。

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
交通共済	838万6千円	454万7千円	383万9千円
国民健康保険	41億3,118万円	41億2,594万2千円	523万8千円
汚水処理	2,453万5千円	2,443万円	10万5千円
農業用水	5,914万1千円	5,890万5千円	23万6千円
介護保険	15億2,479万4千円	15億2,149万4千円	330万円
後期高齢者医療	3億2,632万3千円	3億2,457万4千円	174万9千円
合計	60億7,435万9千円	60億5,989万2千円	1,446万7千円

■特別会計および企業会計への繰出金の状況

特別会計や企業会計に対して各事業の推進を図るため、法令等に基づいて一般会計が一定の額を負担することとしているもので、特別会計へは繰出金として、企業会計へは支出金として経理されます。

会計区分	決算額	構成比	繰出・支出金の内容	
特別会計	交通共済	34万9千円	—	要保護世帯等の共済費分
	国民健康保険	3億3,013万6千円	11.9%	保険基盤安定制度に基づく繰出金ほか
	汚水処理	1,537万7千円	0.5%	汚水処理施設使用料の収入を控除した不足額
	介護保険	2億3,641万4千円	8.5%	介護給付費等の負担分ほか
	後期高齢者医療	1億557万3千円	3.8%	保険基盤安定負担金分ほか
	小計	6億8,784万9千円	24.7%	
企業会計	港湾会計	4,747万7千円	1.7%	会計間協議に基づく負担分
	水道会計	4,636万3千円	1.7%	消火栓移設等の負担金など
	下水道会計	4億6,033万7千円	16.6%	雨水処理経費等の通達に基づく補助金等
	病院会計	15億3,954万9千円	55.3%	基準内繰出金のほか、新病院建設に係る寄附金、医師確保対策に要する補助金等
	小計	20億9,372万6千円	75.3%	
合計	27億8,157万5千円	100.0%		

※以上のように特別会計では、国民健康保険会計が全体の11.9%を、企業会計では、病院会計で全体の55.3%と高い割合を占めています。

平成25年度予算上期の執行状況（平成25年9月30日現在）

平成25年度は、市内経済の厳しい状況が続くなか、市税収入の増額が見込めないことに加え、少子高齢化の進展に伴う社会保障関係費が増加の一途をたどっていること、更に、喫緊の課題である「防災・減災対策」、「高齢者対策」、「教育環境の充実」など、数多くの行政需要により、厳しい財政運営を余儀なくされています。

こうした財政状況の中ではありますが、限られた財源を各種施策へ効果的に配分し、事業の実施に努めており、自主防災組織の結成促進と、活動の活性化を支援する「自主防災組織活性化促進事業」、厚床小学校の校舎改築に向けた実施設計として「厚床小学校校舎改築事業」のほか、「介護施設整備補助及び開設支援事業」、「学力向上補助教員配置事業」、「消防車輛整備事業」、「市営住宅整備事業」などの各種施策を進めています。

■一般会計

予算額	歳入		歳出	
	収入済額	執行率	支出済額	執行率
177億1,625万6千円	74億6,479万7千円	42.1%	65億9,689万9千円	37.2%

■特別会計

会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
交通共済	826万8千円	819万4千円	99.1%	253万8千円	30.7%
国民健康保険	41億3,096万4千円	15億5,922万6千円	37.7%	17億6,905万円	42.8%
汚水処理	2,611万7千円	299万8千円	11.5%	1,703万2千円	65.2%
農業用水	5,011万9千円	1,637万3千円	32.7%	1,792万8千円	35.8%
介護保険	18億924万3千円	6億1,653万円	34.1%	6億4,620万6千円	35.7%
後期高齢者	3億3,658万6千円	1億689万円	31.8%	1億1,190万3千円	33.2%
合計	63億6,129万7千円	23億1,021万1千円	36.3%	25億6,465万7千円	40.3%

■市の借入金状況（平成25年9月30日現在）

一時借入金とは、一時的に支払資金が不足する場合、年度内に返済することを条件に、金融機関などから借り入れる資金をいいます。

※9月末時点での一時借入金現在高は、0円となっています。

■市債の現在高（平成25年9月30日現在）

住みよい街づくりを進めるうえで、道路・学校などの各種大型事業を実施する場合、市税だけではまかなうことができません。そこで、財源の一部として市債により資金を調達しています。長期にわたって返済することにより世代間の住民負担の公平を図ることができます。

借入	会計名	一般会計
財政融資資金		122億1,373万5千円
ゆうちょ・かんぽ		12億941万1千円
銀行ほか		67億3,731万9千円
合計		201億6,046万5千円